



「に」げずに  
「し」んじて  
「かん」しゃして  
「き」ょうりよくする



3月

2025年度  
西神吉小だより

加古川市立西神吉小学校

学校通信

No. 178

## ～ 一年間の学びを ～

校庭の桜のつぼみが膨らみ始め、別れと出会いの季節がやってきました。いよいよ来週、6年生は卒業式、そして在校生は修了式を迎えます。振り返れば、この一年間。子どもたちは日々の授業や行事を通して、心も体も大きく成長しました。思い返せば、この一年間もたくさんの感動がありました。

例えば雨を吹き飛ばした、情熱の運動会がありました。雨天延期となり、当日も途中で雨が降り出すあいにくのコンディションとなった運動会。しかし、子どもたちの心は折れませんでした。雨に打たれながらも生き生きと笑顔で、真剣な表情で踊った表現演技。泥だらけになりながらも全力で競った競争演技。あの時、懸命に演技し、声を枯らして応援し合った姿は、困難に負けない「たくましさ」そのものでした。

例えば心をつなぐ響かせた、音楽会がありました。運動会とは打って変わって、体育館が優しい空気に包まれたひびきあい音楽会。低学年の可愛らしくも一生懸命な歌声、高学年の迫力ある楽器の音色と美しいハーモニー。一人ひとりの音が重なり合い、一つの大きな「感動」となって会場を包み込んだあの瞬間は、互いを認め合い、高め合ってきた学級・学年の「絆」の証でした。

例えば冷たい風を突き抜けて走ったマラソン大会。苦しくて足が止まりそうになっても、自分自身を鼓舞し、一步一步前へ進み続けたあの眼差し。沿道の温かい声援を受けながら最後まで走り抜いた経験は、目には見えない大きな「自信」という力になりました。

他にも6年生の修学旅行、5年生の自然学校、その他の学年も校外学習で様々なことを体験しました。兵庫県警察音楽隊の迫力の演奏を聴きました。「赤ちゃん先生」「綿学習」「消ちゃん先生」「アスリート派遣授業」「おなか元気教室」「加古川食材支援授業」「おかし遊び」「インターネットトラブル防止講座」…地域や関係機関の皆様にもご協力をいただき、たくさんのことを学んできました。こうした一つひとつの積み重ねが、子どもたちの血となり肉となり、今日という日につながっています。

先日の朝会では、「節目」のお話をしました。竹が節を作ることで強く、高く伸びるように、人生にも大切な節目があります。それが今、皆さんが迎えている卒業と修了です。卒業式で、修了式で、西神吉っ子の成長した姿が見られるのを楽しみにしています。

そして、もうすぐ春休み。春休みは、次なるステージへの「心の準備」をする期間です。安全に気をつけて過ごし、4月にまた一回り大きくなった子どもたちに会えることを楽しみにしています。

### 西神吉っ子の一コマ



最後のありがとうコンサート



ピッカリ！  
ピッカリ！



各教科の学習のまとめ・・・



卒業式に向けて・・・

